

第 10 回牧之原市学校再編計画策定委員会 次第

日時：令和 3 年 3 月 18 日（木）午後 2 時 00 分～

場所：相良庁舎 4 階大会議室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 事務局からの情報提供（資料説明）

4 議 事

○ 学校再編計画素案について

○ 学校再編計画素案の答申報告会について

5 市長あいさつ

6 教育長あいさつ

7 連絡事項

8 閉 会

学校再編計画 中学生及び保護者アンケート結果【考察】

令和3年2月12日から2月28日までに実施した中学生及び保護者アンケートについて、回答結果の傾向を次のとおりまとめた。

中学生アンケート

- 1 対象者 中学校1～3年生
- 2 回答数 191件(まきはぐ登録者1,314人+菊川市11人=1,325件中 回答率14%)
- 3 回答の傾向

設問1 小中学校を通してよかったこと・印象に残っていること。または、こんなことができたらよかった、ということ。

【傾向】

- 「よかったこと・印象に残っていること」で、一番件数が多かったのは、「友達に関すること(友達ができ、増えた等)」、「イベント・行事(運動会・修学旅行等)」についてで、それぞれ37件だった。
- 「こんなことができたらよかった」は、コロナ禍で行事が縮小されたことにより「イベント・行事」をもっとやりたかったが12件だった。

【考察】

友達や仲間との出会いや活動が、中学生には大きな影響を与えているとともに、仲間と共に活動した行事等が思い出深いものになっていることが分かる。

設問2 【学校生活】通いたい学校はどんな学校か。

【傾向】

- 授業についての意見が一番多く29件となった。内容は、分かりやすい授業、楽しい授業を求めるものが多かった。
- 次に、多かったのは部活動についてで、28件だった。内容は、部活動の種類がもっと欲しいというものが多く、もっと部活動をやりたい、逆にやりたくないという意見もあった。
- 先生についての意見も多く26件あった。平等に自分たちをしっかりと見てくれる、話しやすい先生を求めている。
- いじめや差別がない学校であって欲しいとの意見が、23件となっている。

【考察】

子どもたちの学校生活の多くを占めている、授業や部活動についての意見が多かった。授業の分かりやすさ・おもしろさを求めており、より分かりやすい授業への要望が感じられる。

また、学校にいる身近な大人である教員には、自分をもっと分かってほしい、話を聞いてほしいという気持ちがあると捉えることができる。子どもたちが教員と話がしやすい環境への要望が感じられる。

設問3 【施設】 通いたい学校はどんな学校か。

【傾向】

- 一番ニーズが高かったのは、「トイレがきれい」なことで27件だった。
- 次に、きれいな校舎が22件、充実した設備が16件となった。

【考察】

現在のトイレが古く、保温機能のない便座である。また、清掃をしても特有の臭いが取れない学校もある。子どもたちは、そのトイレが快適になってほしいとの思いがあり、学校施設へ快適性も求めていることが分かった。

保護者アンケート

- 1 対象者 0歳～中学生までの子どもを持つ保護者
- 2 回答数 974件(まきはぐ登録者3,732人+菊川市35人=3,767件中 回答率26%)
- 3 回答の傾向

設問1 通わせたいと思う学校【複数回答可】

| No. | 項目 | 件数 | No. | 項目 | 件数 |
|-----|----------|-----|-----|---------|-----|
| 1 | いろいろな体験 | 787 | 7 | 通学しやすい | 590 |
| 2 | きめ細やかな対応 | 702 | 8 | たくさんの友達 | 515 |
| 3 | 災害に強い | 688 | 9 | 先進的な教育 | 393 |
| 4 | 生き方教育 | 651 | 10 | 外国語教育 | 386 |
| 5 | 施設・設備の充実 | 620 | 11 | ICT教育 | 274 |
| 6 | 防犯 | 613 | 12 | その他 | 51 |

【考察】

一番多かったのは、「いろいろな体験」ができる学校だった。核家族が多い中、家庭ではできない体験や友達と共に行う体験等、学校でいろいろな体験を子どもにさせたいという保護者の思いが表れている。次に、きめ細やかな対応。大きく成長する時期である小・中学生の多くの時間を学校で過ごすため、子どもの成長を丁寧にサポートしてほしいという願いがあることが分かる。次に、子どもの命を守ること、そして、生き方、5番目に施設の充実となった。

全体的に、保護者がソフト事業の充実を求めている傾向があることが分かる。

設問2 学校再編計画素案についての意見

【傾向】

- ① 再編に期待を寄せている意見が多く、428件だった。
- ② 反対意見は22件で、規模や場所、現状のままを望む声があった。(学校組合除く)
- ③ その他意見のうち、心配なこととしては、大きく次の3つの意見があった。
 - 現在、小規模校だから、先生が目が行き届き、多くの活動ができていたと感じている保護者からは、再編してもっと大人数になったときに、これらが薄れてしまうのではないか。
 - 1クラスの人数が増えてしまうという意見や、小中一貫教育のよさが良く分からないとの意見があった。
 - 通学方法について、どのような通学方法になるのか、バス通学の基準、費用等がどうなるのかという意見が多かった。

④ 学校組合については

- 地頭方地区は、再編に期待を寄せている意見が36件、反対意見が8件だった。現在の小学校の立地に不安を抱いている人が多い。また、御前崎市との協議の必要性についても意見があった。
- 牧之原地区は、再編に期待を寄せている意見が25件、反対意見は20件だった。人数が多い学校に通わせたいという意見と、災害に強い立地で、菊川市の子どもと保育園から一緒に学んでいる地域性から現状のままを望む声がある。

【考察】

- 分かりやすく正確な情報を伝える必要がある。
 - 「小規模校は先生が目が行き届く」「1クラスの人数」等について
小規模校は級外の教員が少なく、学級担任の他に非常勤講師や市の学習支援サポーター等が配置されているものの、出張などが重なった時は、自習となってしまうことがある。また、規模に関わらず、国が40人学級としているところ、静岡県が35人学級を進めてきたことで、全体的に級外の教員が減っており、サポートに入ることができる教員数が少なくなっていた状況もある。
1学年1学級ということは、その学年を教える教員は基本的には1人となり、進め方や指導方法等、気軽に相談や共有ができる同学年の担任がいない。
- ① 1クラスの人数は、市ではなく国が基準を決めることを知ってもらう必要がある。また、静岡県は1クラス35人を上限としているため、複数学級の場合は、1クラスの人数が18～35人となる。全体の人数が増えれば1クラスの人数が増えるとは限らない。(例えば、1学年の人数が72人の場合は、24人×3クラスとなる。)
- ② 複数学級ということは、同学年を受け持つ教員が複数となることで、気軽に相談でき、教員同士が切磋琢磨できる環境となる。
- ③ ALT、バイリンガル相談員、学校図書館司書、スクールカウンセラー等の専門的なサポートができるスタッフは、現在、拠点校を置き、順番で各学校を回っている状況にある。小中一貫校にすることで、これらの専門的なスタッフの常駐が可能となり、よりきめ細かな支援や指導ができると考える。
- 「小規模校の方が多くの体験ができる」について
他クラスとの調整が必要ないこと、地域との密着度、市バスの利用のしやすさ等から、現状は、単学級の学校の方が体験的な学習が多い傾向にある。しかし、コミュニティ・スクールを導入し、規模に関わらず、地域と共に子どもを育てる取組を進めていることや、小規模校のよさを生かすことができる新しい学校をつくるということを考えていることが伝わるようにする必要がある。

また、新しい学校は、「大規模校」ではなく、「適正規模校」である。多すぎず、少なすぎず、いろいろな学びや活動に適した規模とされている。新しい学校で子どもたちにどんな学びや活動をさせたいか、学校、地域みんなで考え、取り組んでいけるように、現段階からコミュニティ・スクールや小中一貫教育を見据えた連携を行っている。

- **通学方法**

通学方法については、まずは学校区が決まらないと具体的に考えることは難しい。また、具体的に考えるのは当事者である学校や保護者を中心としたいと考えている。今回の結果からも、保護者は通学をととても心配しているため、いつ、どこで、どのように通学方法を検討するかを伝えることができるようにする。計画素案の「配慮してもらいたい事項」でも、伝わりやすい表現をしておく必要がある。

- **学校組合**

- **地頭方地区について**

牧之原市の再編時期より前に、御前崎小、白羽小が浜岡中学校と小中一貫校となってしまうことを懸念している。再編については前向きな意見が多いため、地頭方地区の子どもたちが困ることがないように、時期等については御前崎市ときちんと協議をすることが伝わるようにする。

- **牧之原地区について**

地頭方地区に比べ、賛成、反対の意見が同じくらいあり、賛成・反対でない意見では、通学方法などが心配という声もあった。再編の対象とするかについて、答申後、市が住民や菊川市と十分協議して結論を出す必要がある。分からない・意見なしも多く、情報をきちんと伝え、意見を言いやすい形での意見聴取が必要である。

メール等による、学校再編計画策定委員の審議結果

資料

■ 素案についての意見一覧

| 項目 | P | | 意見 |
|---|---|---------|--|
| 全体 | | | 全体的に整理されて分かりやすくなった。 |
| | | | 審議内容が反映されている。 |
| | | | 子どもたち、児童生徒の両方の表現がある。どちらかにそろえた方がよい。個人的には「児童生徒」。 |
| 学校再編への思い | | | 3段落目「そのためには、」⇒「そのために、」 |
| | | | 4段落目「そのため」削除 |
| | | | 5段落目「教育環境が整うだけでなく、少子化や人口減少等に歯止めを掛け、」を前向きな表現に |
| 学校再編計画の基本方針等 | 1 | 学校像 | 「楽しい学校生活を送りながら、「次代を切り拓く力」を育み、」⇒「子どもたちが楽しい学校生活を送り、「次代を切り拓く力」を育てていくため」 |
| | | 5つの基本方針 | 「「次代を切り拓く力」を伸ばすことができる学校」⇒「次代を切り拓く力」を伸ばす学校」。基本方針は、スローガンのためもあるので、なるべくシンプルにした方がよい |
| | 「「次代を切り拓く力」を伸ばすことができる学校」⇒「次代を切り拓く力」を育む学校」 | | |
| | 2 | 方針1 | 「学校が楽しい」と思えるようにするために、」⇒削除 |
| | | | 「特別な支援が必要な～も含めて、」を3段落目の「そのためには、」のあとに移動する |
| | | | 3、4段落目「そのためには、～望みます。」をもう少しコンパクトにまとめる |
| | | 方針2 | 説明「次代を担う子どもたちが、」削除 |
| | 説明2段落目「新しい学校は、」⇒「新しい学校には、」 | | |
| | 「その他さまざまな変化に」⇒「その他さまざまな社会変化に」 | | |
| | 「施設環境にするため、人や予算を集中し、より」削除 | | |
| | | | 人と予算を集中するのが再編準備のためとも読める。再編後の充実だと分かるような表現にする。 |
| | 3 | 方針4 | 説明「計り知れない」削除 |
| | | | 2、3段落目を「牧之原市では、～考えます。」をコンパクトに。 |
| | 4 | 方針5 | 方針の字体をゴシックに変更 |
| | 5 | 概念図 | 「子どもたちに付けたい力」⇒「育みたい力」 |
| 青の楕円内の表現をそろえる。「9年間の学びと育ち」が名詞で他が動詞で終わっている。他を「多様な人に触れる」⇒「多様な人との触れ合い、多様な人との交流(どちらか)」、「いろいろな体験をする」⇒「をする」を削除 | | | |
| コミュニティ・スクールの字を大きく。キャリア教育、小中一貫教育の文字の大きさと場所。 | | | |
| キーワード「つなぐ」がどこにも出てきていない。基本方針に入れるか、概念図から削除する。 | | | |
| 黄色文字が見つらい | | | |

| 項目 | P | | 意見 |
|----------|----|-------|---|
| 学校再編の考え方 | 6 | | 「2学校再編の考え方」⇒「3学校再編の考え方」 |
| | | | (1)説明1段落目「集団の中で多くの人と共に、」⇒「、」削除 |
| | | | (2)説明1段落目「人数と規模とするとし、」⇒「人数と規模とし、」 |
| | 7 | 学校規模 | (2)②説明「賛成の理由は、現在の小学校の立地への不安や、小学校と中学校の学校管理者が変わることによる不整合等が挙げられる一方で、相良地域に通う場合の通学に対する不安もありました。」⇒ 「現在の小学校の立地への不安や、小学校と中学校の学校管理者が変わることによる不整合等が解消されるという賛成意見の一方で、相良地域に通う場合の通学に対する不安もありました。」 または 「賛成の理由は、現在の小学校の立地への不安や、小学校と中学校の学校管理者が変わることによる不整合等が解消されるという意見が挙げられました。一方で、相良地域に通う場合の通学に対する不安もありました。」 |
| | | | ③説明2段落目「それぞれ近い学校に通う等、」⇒「それぞれ近い学校に通うのか等」 |
| | 8 | 学校の場所 | ①②番号のところから枠で囲む。その前の文章は枠外に出すと他の箇所とつくりがそろふ。 ①2子どもたちと児童生徒の両方の表現が一文の中にある |
| 配慮すべき事項 | 14 | 8 | 「市民への周知と意見を聞く機会の創出」⇒「創出」削除 |
| | 15 | | 14ページ分を13ページまでに収める |

■ 素案の概要についての意見一覧

| | |
|----|---|
| 表面 | 現状の部分をもう少し小さくして、目指す学校像、5つの基本方針の幅を大きくする |
| | 5つの基本方針の4つめが違う |
| | 黄色は見にくい |
| 裏面 | 5「目標時期」⇒「開校目標時期」 |
| | 今後の進め方「素案提出後は市や教育委員会がやること」⇒「素案提出後に市や教育委員会が行うこと」 |
| | 「しっかり進めてほしいこと」⇒「市や教育委員会に配慮してほしいこと」 |

■ アンケートについての意見一覧

| | |
|-----|---|
| 方法 | WEBアンケートだけというのを心配する声がある。自治会では若者との意見交換を望んでいる |
| チラシ | 全体的に明るくてよい |
| | 目に留まる配色なので、多くの人が見てくれると思う |
| | 風船が見にくい |
| | リード文6行目「するか、」⇒「、」削除 |
| | 裏面5「目標時期」⇒「開校目標時期」 |

令和 3 年 3 月 18 日 第 10 回学校再編計画策定委員会

牧之原市学校再編計画素案答申報告会実施要項（案）

（教育文化部教育総務課）

1 趣 旨

牧之原市学校再編計画策定委員会が、教育委員会から諮問された「学校再編計画素案」について答申を行う。

2 日 時

令和 3 年 3 月 29 日（月） 15 : 00～16 : 00

3 場 所

牧之原市役所相良庁舎 4 階大会議室

4 出席者（予定数）

- 学校再編計画策定委員
- 教育委員
- 市長・副市長・教育長
- 教育委員会事務局

5 内容

| 時間 | 所要(分) | 内容 |
|-------|-------|----------------------|
| 15:00 | 2 | 開会 |
| 15:02 | 5 | 答申 |
| 15:07 | 20 | 答申内容説明 |
| 15:27 | 20 | 学校再編計画策定委員の思い(9人×2分) |
| 15:47 | 5 | 教育長(教育委員会代表)あいさつ |
| 15:52 | 5 | 市長あいさつ |
| 15:57 | 1 | 閉会 |